

当院におけるピロリ菌の受診者

(2014年2月～2015年1月)

はじめに

2013年2月からの除菌療法の保険適応拡大により、当院において自費診療の受診者が減少し、保険診療の受診者が増加した。

しかし、全国的に年々と、ピロリ菌の除菌成功率が低下してきている。

保険適応拡大から1年経過後の当院におけるピロリ菌による受診者の動向を探るため、2014年2月から2015年1月までの受診者を集計し、1次除菌率を求めた。

総受診者:392名

男性:173名 女性:219名

年齢:28歳～87歳

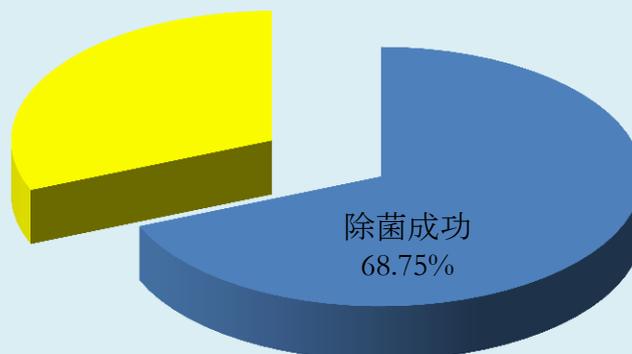
保険除菌者

2次除菌目的や不確かな方を除くと

→保険による1次除菌者:336名

1次除菌率

■ 除菌成功 ■ 除菌不成功



尿素呼気試験のみ受けた方:21名

自費除菌者:15名(14名成功、1名不成功)

除菌成功率:93.33%

まとめ

昨年と比較し、約100名の受診者の増加が認められ、ピロリ菌除菌の認知度が高まったことが考えられる。

除菌率は低下しており、全国的な動向と同様な傾向であった。

最近、除菌の新薬が誕生し、今後の除菌成功率の上昇が期待される。

日本ヘリコバクター学会認定医 桂田純二郎